

第二回札幌市歴史文化基本構想策定委員会の意見概要及び対応表

【文化財把握の方針について】

■文化財の対象について

意見概要	対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現存していない文化財についても未来に伝えていくために整理されると良い 	今後の検討において留意していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 古くから伝わってきたもの以外でも、特に無形文化財では近年続いている札幌市ならではの行事やイベントなど、未来志向のものも対象とすると良いのではないか。 ・ 近年始まったお祭りでも歴史を振り返りその経緯を意識したうえで始まったものもある。 ・ 無形文化財について、有形や空間、動産不動産を含めた総合的な存在として捉えることが重要。 	札幌の歴史文化の特徴や関連文化財群において行事やイベント、お祭りについて記載
<ul style="list-style-type: none"> ・ オヨヨ通りや裏参道などに見る若者文化とまちの発展の関係性に見る札幌らしさ。 	今後の検討において留意していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌だとラーメンやジンギスカンなど地域のグルメも含めて捉えるのか。 ・ ラーメン一つとっても、キャンペーン型ではなく、歴史をしっかりと調べたうえで正しいものを見出して登録をする。文化財行政が取り組む以上、オーセンティックな価値づけがなされて、その価値をよく表すものを登録し、一方で、将来もっと正しいことが分かれば改定するような、現代性を持たせると良い。 	今後の検討において留意していく。

■文化財の分類方法について

<ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌市において景観行政との親和性を考えると、実物要素は「景観要素」とすると良いのでは。 	景観要素とする。
---	----------

■アンケートについて

<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会議所の観光ボランティアもアンケートの対象とすると良い。 	観光ボランティアに対してもアンケートを配布予定
--	-------------------------

■文化財調査について

<ul style="list-style-type: none"> ・ 文献整理については、郷土資料館などにヒアリングをしようとしているが、地域に眠る資料がまだまだあると思う。市に所蔵していなく資料館にもないような資料も含めて重点的に実施してほしい。 	資料館の収蔵品以外についてもヒアリングにて確認する。また、現地調査時に見出した資料や文化財についても記録する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌市では以前まちじゅう博物館というものを実施しており、その資料もぜひ反映してほしい。 	資料確認済み。WS の実施方法や関連文化財検討の参考とする。

【関連文化財群について】

■札幌の歴史文化の特徴について(追加すべき要素など)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの市町村との合併などを経て今の札幌があること。札幌のまちの成り立ちが、ストーリーを見るだけで外から来た人にも見えてくるとすごく良い。 ・ 今の整理だと札幌のまちの広がり方がよくわからない。もともと札幌は石狩大府で、札幌本府、札幌区となっていく。その変化と動きを分かるようにしてほしい。 	<p>資料-4 P21～札幌の歴史文化の特徴において整理した。今後の調査により文言を追加修正する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ アイヌ語地名をしっかりとらえてほしい。開拓使が置かれてからの札幌のまちづくりと、それまで培われていたアイヌ民族の文化や歴史の2方向から平等に考えることが大切。 ・ アイヌ語地名はその土地の特徴を的確に表しており、その場所が何に適しているなどがよくわかる。先人たちの知恵をストーリーと絡めて継承していきたい。 ・ サッポロ場所と上サッポロ場所、フシコ場所、コトニ場所があり、アイヌのコタンと一致している。アイヌ民族の生活の跡と札幌のつくり方は関連があるため、そのことを明らかにしていくべき。 	<p>資料-4 P17～札幌の歴史文化の特徴において整理した。今後の調査により文言を追加修正する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌を語るうえで、札幌神社と北海道神宮は欠かせないと思う。明治32年までは渡御の行列にアイヌの人がいた。アイヌとも関連している事項である。 	<p>資料-4 P30 札幌の歴史文化の特徴及び資料-5 P6 関連文化財群において整理した。今後の調査により文言を追加修正する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦争遺跡はだいぶなくなっているが、戦争関連というのも札幌の歴史を語るうえでは欠かせないだろう。 	<p>資料-4 P25 札幌の歴史文化の特徴において整理した。今後の調査により文言を追加修正する。</p>

■関連文化財群について

<ul style="list-style-type: none"> ・ 特徴の導き方は分かりやすいが、7つの関連文化財群にした際に、それぞれの特徴が途切れてしまっている。変化に富む地形というのは、現在のイメージが強いが、古代の文化やアイヌ文化にも関係していると思うので、繋げる視点があると良い。開拓以降の4,5については地形に関連していることもあるが、6,7でも地形にも繋がりがあのだろうか。 	<p>資料-4 P14～札幌の歴史文化の特徴及び資料-5 P3～関連文化財群において、空間的観点・地域社会的観点・時間的観点を通して繋げるよう再整理した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピックで札幌のまちが大きく変わったことは理解できるが、近代都市というところばかりを切り取ると、他の大都市とのオリジナリティーがなくなってきた、似通ってしまうのではないか。 	<p>資料-5 P3～において、札幌らしさを感じる文言を使い、札幌ならではの関連文化財群となるよう再整理した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 島半官が札幌の起点を定めてから現代までをつなげていくと札幌のオリジナリティーが出せるのではないか。縄文時代から繋 	<p>資料-4 P19 札幌の歴史文化の特徴及び資料-5 P4 関連文化財群において</p>

<p>げていくことができればもっとわくわくする。</p>	<p>整理した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 観光資源化をしていくという観点から見ると、今の群の分け方だけだと特別目新しいものはなく、実施化に活用する上では、具体的な付加価値をつけていく必要があると思う。 	<p>資料-5 P3～関連文化財群において、関連文化財群を再整理した。今後のWSや調査により追加修正する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 提示している関連文化財群は札幌全域を表すような大きなストーリーだが、例えばある地域のあるお祭りが関連文化財群として取り上げられても良いだろう。柔軟に取り組むことができる考え方にしていくと良い。 	<p>関連文化財群及びストーリーの設定方法に関してはWS等の結果も踏まえつつ今後考え方を整理する。</p>

■時代の表現について

<ul style="list-style-type: none"> アイヌ時代という言葉はその時代が終わったらアイヌがいないような誤解も招きかねない。 	<p>アイヌ文化期に修正した</p>
---	--------------------

【保存活用の方針について】

<ul style="list-style-type: none"> 教育機関とも連携を取り、授業の中で札幌の歴史を学ぶ時間を設けるなど、具体的な継承の方法も報告書に入れてほしい。 	<p>保存活用の方針(第5章)の策定において検討する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 地域の町内会や商店街の方々と文化財を保存活用して盛り立てていくような仕組みがあると良い。 	<p>保存活用の方針(第5章)の策定において検討する。</p>